

I 平成28年度事業報告

総括

1 役員会の開催と主な事項

(1) 評議員会・理事会と主な事項

開催日	会議名	議題
平成28年4月6日	第9回理事会	平成27年度決算承認について 畜産振興基金の運用について
平成28年4月21日	第8回評議員会	平成27年度決算承認について
平成28年9月8日	評議員・理事・監事 放牧場視察	俵原牧野現地視察
平成29年1月11日	第10回理事会	平成28年度補正予算の承認について 平成29年度事業計画・予算の承認について 業務方法書の一部変更について 臨時的任用職員に関する要領の一部 変更について
平成29年1月27日	第9回評議員会	平成28年度補正予算の承認について 平成29年度事業計画・予算の承認について

(2) 監査

平成28年3月29日 平成27年度決算監査

2 各事業報告

(1) 放牧預託事業

平成28年度の放牧延べ頭数は、事業計画395,041頭に対し実績は395,471頭と430頭の増となった。この内訳は、乳用牛が2,084頭の増、肉用牛が1,654頭の減であった。

これは、乳用牛については計画より預託希望が大幅に増加した事と、肉用牛については冬期舎飼の頭数制限をかけたことによるものである。これに伴い、預託料収入は予算230,000千円に対して230,505千円と、505千円の増額となった。

平成27年度と対比すると下表のとおりで、預託収入は前年度に比べ6.3%増収入となった。

牧場名	畜種	預託延頭数(頭)		預託料収入(千円)		前年対比 (%)
		平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	
鳥取	乳用牛	148,639	156,756	90,670	95,621	105.5
	肉用牛	65,685	73,007	30,412	33,802	111.2
大山	乳用牛	157,046	165,708	95,798	101,081	105.5
合計	乳用牛	305,685	322,464	186,468	196,703	105.5
	肉用牛	65,685	73,007	30,412	33,802	111.2
総計		371,370	395,471	216,880	230,505	106.3

(2)人工授精・移植・採卵事業

平成28年度事業計画収入は、人工授精3,390千円・受精卵移植10,500千円・採卵事業9,801千円を予定していた。

人工授精については、計画頭数に対し18頭の増で、収入は682千円の増となった。

受精卵移植事業は、移植計画頭数に対して46頭の増で、収入は632千円の増となった。畜産試験場の繁殖和牛採卵受託における受精卵販売については、後半に採卵個数が減少したため、計画に対し1,170千円の販売収入減となった。よって、併せた収入は538千円の減となった。

採卵事業においては、農家庭先採卵頭数が、計画に対し増加し延べ32頭の増頭で、収入は1,404千円の増となった。家畜人工授精及び受精卵移植の受胎率については、ii)表のとおりである。

i)収入状況

区 分	事業名						収入合計 (千円)
	人工授精事業		受精卵移植事業		採卵事業		
	頭数 (頭)	収入 (千円)	頭数 (頭)	収入 (千円)	頭数 (頭)	収入 (千円)	
平成27 年度	1,482	3,446	240	2,592	212	9,648	18,359
			受精卵 販売	2,673			
			計	5,265			
平成28 年度	1,468	4,072	296	3,197	247	11,205	25,240
			受精卵 販売	6,766			
			計	9,963			
前年対 比(%)	99.1	104.7	123.3	189.2	112.2	116.1	137.5

ii)受胎状況

区 分	人工授精		受精卵移植	
	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度
実施延頭数(頭)	1,482	1,468	520	533
受胎頭数 (頭)	879	764	240	296
受胎率(%)	59.3	52.0	46.2	55.5

(3) 牧草管理事業

平成28年度の牧草収穫は、鳥取放牧場において、前年度まで牧草地の計画的更新を実施したことにより、採草面積が増加し、牧草収穫量は前年に比べて6.2%増加した。しかし、平均反収は前年に比べ7.2%減少しているが、これは1番草を猪・鹿に採食された被害によるもので、2番草以降の収量は前年並みであった。

大山放牧場においては、例年牧草収穫量が少ないことから、土壌分析を基に肥培管理の徹底を図ったことにより、牧草収穫量は前年に比べて24.8%増加した。

全体で見ると、採草面積は昨年とほぼ同じであったが、肥培管理の徹底を図ったことにより収穫量は6.1%増となり、平均反収は11.0tと、前年度に比べ5.8%増の収量を得ることが出来た。

i) 牧草生産状況

区 分		鳥 取	湖 山 畑	大 山	計
採 草 面 積	平成27年度	38.4ha	26.0ha	88.5ha	152.9ha
	平成28年度	43.8ha	26.0ha	83.6ha	153.4ha
	前年度対比	114.1%	100.0%	94.5%	100.3%
牧 草 収 穫 量	平成27年度	426.5t	638.0t	530.8t	1,595.3t
	平成28年度	453.0t	578.0t	661.2t	1692.2t
	前年度対比	106.2%	90.6%	124.8%	106.1%
平 均 収 量	平成27年度	11.1t/ha	24.5t/ha	6.0t/ha	10.4t/ha
	平成28年度	10.3t/ha	22.2t/ha	7.9t/ha	11.0t/ha
	前年度対比	92.8%	90.6%	131.8%	105.8%

ii) 自給率

区 分	牧草購入量	牧草収穫量	自給率
平成27年度	1,001.0t	1,595.3t	61.4%
平成28年度	1,480.0t	1,692.2t	53.3%
前年対比	147.9%	106.1%	

iii) 草地更新

区 分	鳥 取	大 山	合 計
全 面 更 新	2.7ha	6.9ha	9.6ha
簡 易 更 新	4.5ha	5.8ha	10.3ha
合 計	7.2ha	12.7ha	19.9ha

(4) その他収入状況

i) 大山乳業から、転籍者7名の人件費支援として、19,200千円を受取民間助成金として受入れた。

ii) 湖山池周辺農地の草地管理費12,600千円を雑収入として受入れた。

iii) 県土整備事務所から湖山池浚渫残土再利用造成委託料として6,317千円、湖山町瀬地区営農組合から草地更新請負作業料として4,306千円、県畜産試験場から和牛繁殖管理委託料として7,111千円、鳥取県から放牧場内施設修繕委託料として3,281千円を受託料として受入れた。これらはすべて、業務委託契約に基づき作業を行っている。

(5) 支出状況

i) 給料手当は、職員13名分の昇給額により前年度より5,614千円増額となった。また、賃金手当は、1名増員したことにより1,699千円の増額となった。

ii) 飼料費は、自給飼料収穫量が昨年より6.1%増えたことと、購入飼料の湖山瀬地区の牧草買取単価が安価であったことから、海外牧草購入量が減少し、前年度より14,496千円減額となった。

iii) 修繕費は、大規模な施設修繕が少なかったため、前年度より7,485千円の減額となった。

iv) 支払負担金は、大山乳業からの出向職員人件費の2分の1負担がなくなったことにより、前年度より4,165千円の減額となった。

v) 医薬材料費について、ピロプラズマ病対策を行ってきた効果が表れ、ピロプラズマ病に起因する疾病が減少し、治療薬等の購入金額の減少を見たが、受精卵関係の頭数が増加し、その関係医薬材料の購入額増加し、前年度より1,390千円増額となった。

(6) ふれあい牧場等の整備

i) 大山放牧場のふれあい施設「大山まきば」は大山乳業農業協同組合に管理委託し営業している。今年度は平成28年3月19日から平成28年12月4日まで245日の営業で約299千人の来場者を得、畜産への理解醸成が高まった。

ii) 鳥取放牧場の「ふれあい草地」については、地域の幼稚園児・小学校児童・老人介護施設の方々が定期的に来場されており、牧場への理解醸成に繋がって来ている。